

SISE (Implementing and Configuring the Cisco Identity Services Engine)

前提条件

このコースに参加する前に、以下のスキルと知識を持つことをお勧めします（必須ではありません）

- Cisco IOSソフトウェアのコマンドラインインターフェイス（CLI）に関する知識
- Cisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントの知識
- Microsoft Windowsオペレーティングシステムの知識
- 802.1Xの理解

受講対象者

- CiscoチャネルパートナーのSE(システムエンジニア)またはFE(フィールドエンジニア)で、Cisco ISEを販売するためにATPプログラムの教育要件を満たしたい方
- エンタープライズネットワークにおいてCisco ISEを実装・維持するフィールドエンジニア、ネットワーク管理者、コンサルティングシステムエンジニア
- セキュリティアーキテクト、設計エンジニア、ネットワーク設計担当者、その他Cisco ISEに携わる方

概要

Implementing and Configuring Cisco Identity Services Engine (SISE) v3.0は、有線、無線、およびVPN接続を介した一貫したセキュリティ保護されたアクセス制御の提供を簡素化するアイデンティティおよびアクセス制御ポリシープラットフォームであるCisco Identity Services Engine (ISE) v2.4の導入および使用方法を提供します。この実践的なコースでは、ポリシー施行、プロファイリングサービス、Web認証とゲストアクセスサービス、BYOD、エンドポイントコンプライアンスサービス、TACACS+デバイス管理など、Cisco ISEの実装と使用に関する知識とスキルを提供します。

専門家の指導と実践を通して、Cisco ISEを使用してネットワークで何が起きているかを把握し、セキュリティポリシー管理を合理化し、運用効率に貢献する方法を学びます。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

コア展開コンポーネントと、それらが相互に連携して一貫したセキュリティアーキテクチャを構築する方法を含むCisco ISEの展開について説明できる

導入の利点と、各Cisco ISE機能がこれらの利点にどのように貢献するかを説明できる
802.1XおよびMAC認証バイパス (MAB) 認証、ID管理、および証明書サービスに関連
する概念を説明し、構成できる

認証と認可の実装にCisco ISEポリシーセットを使用する方法と、組織のニーズを満た
すためにこの機能を活用する方法を説明できる

サードパーティのネットワークアクセスデバイス (NAD)、Cisco TrustSec®、およびE
asy Connectについて説明できる

ゲストアクセスコンポーネントやさまざまなゲストアクセスシナリオを含む、Web認
証、プロセス、操作、およびゲストサービスを説明、設定できる

Cisco ISEプロファイリングサービスを説明して設定し、これらのサービスを監視して
ネットワーク接続されたエンドポイントに関する状況認識を高める方法を理解できる

特定の環境でプロファイラサービスを展開するためのベストプラクティスについて説
明できる

BYODの課題、ソリューション、プロセス、およびポータルについて説明できる

BYODソリューションを構成し、BYODプロセスとそれに関連する構成コンポーネン
トの関係を説明できる

BYODソリューションに関連するさまざまな証明書を説明して設定できる

My Devicesポータルの価値とこのポータルの設定方法を説明できる

Cisco ISEにおける、エンドポイントのコンプライアンスとそのコンポーネント、ポス
チャージェント、ポスチャの展開とライセンス、およびポスチャサービスを説明できる

コマンドセット、プロファイル、およびポリシーセットを含む、Cisco
ISEを使用したTACACS +デバイス管理の説明し設定できる

認証、認可、アカウントティング (AAA) フレームワーク内のTACACS
+の役割と、RADIUSプロトコルとTACACS +プロトコルの違いを理解できる

移行ツールを使用して、TACACS +機能をCisco Secure Access Control
System (ACS) からCisco ISEに移行できる

アウトライン

セクション1：Cisco ISEのアーキテクチャと導入の概要

セクション2：Cisco ISEポリシーの適用

セクション3：Web認証とゲストサービス

セクション4：Cisco ISE Profiler

セクション5：Cisco ISE BYOD

セクション6：Cisco ISEエンドポイントコンプライアンスサービス

セクション7：ネットワークアクセスデバイスの使用

ラボの概要

ディスカバリ1：SISEラボへのアクセスと、ISE 2.4のインストール

ディスカバリ2：Cisco ISE

の初期セットアップ、GUIの利用、およびシステム証明書の使用の設定

ディスカバリ3：Active DirectoryとCisco ISEの統合

ディスカバリ4：Cisco ISEポリシーの設定

ディスカバリ5：Easy Connect用のアクセス・ポリシーの設定

ディスカバリ6：ゲストアクセスの設定

- ディスカバリ7：ゲストアクセス操作の設定
- ディスカバリ8：ゲストレポートの作成
- ディスカバリ9：プロファイルの設定
- ディスカバリ10：Cisco ISEプロファイル設定のカスタマイズ
- ディスカバリ11：Cisco ISEプロファイリングレポートの作成
- ディスカバリ12：BYODの設定
- ディスカバリ13：デバイスのブラックリストへの登録
- ディスカバリ14：Cisco ISE コンプライアンス サービスの設定
- ディスカバリ15：クライアントプロビジョニングの設定
- ディスカバリ16：ポスチャポリシーの設定
- ディスカバリ17：コンプライアンスベースのアクセスのテストとモニタ
- ディスカバリ18：コンプライアンスポリシーのテスト
- ディスカバリ19：基本的なデバイス管理のためのCisco ISEの設定
- ディスカバリ20：TACACS +コマンド認可の設定